

メッシュ2.0は接続だって“常時フルオート” SENA 50シリーズの 魅力を探る

最新のネットワーク通信技術「メッシュ2.0」を搭載した、フラッグシップモデル「50」シリーズ
セナ・インターコムアイコンともいえる、ジョグダイヤルを採用した「50S」と
シンプルな3ボタンとスリムなデザインがスポーティな「50R」の2モデルをラインナップ
いずれも最新のメッシュテクノロジーを駆使して、最高の通話環境を作ってくれる

文／八百山ゆーすけ
問：セナブルー투스ジャパン <https://senablueetooth.jp>



バッテリーの充電と同時に
自動でファームウェアを更新
50シリーズは専用のWi-Fiアダプターを同梱。バッテリーの充電と同時にファームウェアを最新版に更新してくれる。充電時間も従来モデルより約30%も短く、メッシュなら20分の充電で3.5時間の通話が可能だ



50S

価格：4万3340円

セナ伝統のジョグダイヤルがグローブをはめた手でも直感的に操作が可能。マイク一体型のマウントを介して帽体に固定するため簡単に着脱できる

メインモジュール：102×56×27mm
スピーカー：直径40mm×厚み7.2mm プームマイク：長さ190.0mm
ケーブルマイク：長さ555mm



50R

価格：4万3340円

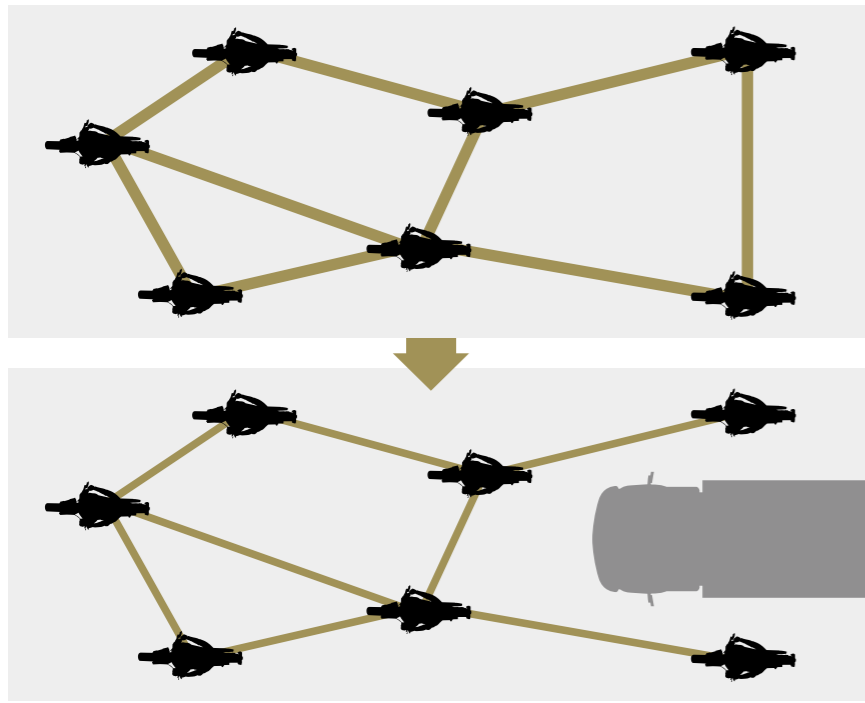
50Sの機能・性能はそのままにスリムさを追求。操作系はシンプルな3ボタンを採用している。スポーツタイプのヘルメットやバイクにフィットするモデルだ

メインモジュール：97×48×27mm
スピーカー：直径40mm×厚み7.2mm プームマイク：長さ150.0mm
ケーブルマイク：長さ555mm

メッシュ2.0になり
接続はさらに安定

網 目状のネットワークを作って通信するセナ独自の通信技術「メッシュ2.0」。メンバー間の通信状況をリアルタイムに管理しているため、常に最適な通信経路に切り替えて“切れにくい”グループ通話を実現。必ずしも一番近いメンバーと接続するのではなく、位置に関係なく通信状況のいいルートを選んでネットワークを作る。もちろん最初の接続もボタン押しで完了するほか、最新の通信マトリクスにより、音声の明瞭度も従来の「セナ・メッシュ」より80%程度向上している。

メンバー間に障害物が入って通信状態が悪くなった場合、自動的に通信状況のいい経路に切り替えて通話状態を維持。常にお互いの通信状況を監視しているため、瞬時に経路が切り替わる



最も適した通信環境に フルオートでつながる安心感

50シリーズには 専用アプリも 用意される

50シリーズは専用のスマホアプリ「50 utility」でほぼすべての操作や設定が可能。グラフィカルなユーザーインターフェースによって直感的に操作ができる。“今操作したいこと”が文字で示されているため、ユーザーガイドを見なくても画面の表示をタップしていくだけで、スムーズに操作ができる。



アプリの最初の画面。スマホとのペアリングも、アプリの指示にしたがって操作していきただけで完了するイメージさ



インターコム通話、電話、音楽、FMラジオなどの機能が並ぶメインメニュー。電池残量や通話可能時間も一目で分かる



メッシュ通話のメニュー画面。メッシュ2.0から追加されたチャンネルの切り替えや、ミュートといった操作もワンタッチ



Bluetooth接続では、3人のメンバーの接続状態が一目瞭然。各ボタンをタップすることで、相手を選んで通話できる



ボイスコマンド一例
Hey Sena、音楽再生
Hey Sena、FMオン/FMオフ
Hey Sena、バッテリー残量
Hey Sena、電話ペアリング
Hey Sena、メッシュオン
Hey Sena、メッシュグループ作成

ボイスコマンドは 慣れればとっても便利

音声でインターコムの操作ができるボイスコマンドも50シリーズは高性能。日本語に対応しており、マイクに向かって「Hey Sena ○○」と話しかければ様々な機能を起動できる。たとえば、「Hey Sena 電話ペアリング」と言えば、電話のペアリングにハンズフリーで指令できる。これを活用すれば、手動操作を覚える必要もなく便利だ。

も高いレベルを実現している。もちろん50シリーズはフラッグシップとして、ほかの機能も充実。50シリーズ専用アプリ「50ユーティリティ」によって、充実した機能をスマホの画面で直感的に操作できる。さらに日本語対応のボイスコマンドを使えば、声だけでインターコムを操れるなど、50シリーズは通話の音質アップから操作まで、まさにフルオート感覚を実現したインターコムなのだ。

通話のクオリティアップから操作までフルオートを実現
セナ・インターコムのラインナップの中で、フラッグシップに位置付けられる「50S」と「50R」。インターコム間の通信に一般的なBluetoothではなく、独自の「メッシュ2.0」というテクノロジーを採用している。メッシュ2.0はBluetoothのようにお互いのインターコムを認識させるペアリング操作が不要なうえに、複数のメンバーの接続順を気にするといった必要もない。さらにメンバーを網の目状に接続していることで、常に安定したグループ通話を可能にしている。メッシュ2.0は網の目のようなネットワークを形成しているため、たとえ今話している二人の間に電波が遮断されるようなことがあっても、すぐさま伝送経路をネットワークの他の経路に切り替えて通話を続けることができる。これはメッシュ2.0が通話中、常にお互いの通信状態を監視してリアルタイムに伝送経路を切り替えているからこそできるワザ。さらに、たとえ障害物がなくても、常に通話の状態がよくなる伝送経路を探しているから、通話の音質